

## <基本的な考え方>

コロナ禍で明らかになった諸課題（格差、地球環境等）に正面から向き合い、あらゆるステークホルダーとの協創を目指す持続可能な資本主義を基本理念として、成長を実現するための戦略が必要。価値創造による成長、未来への投資、未来像からバックキャストした大胆なアクションを即時に実行すべき。

## I デジタルトランスフォーメーション（DX）による経済社会変革

生活者価値の実現を軸に新たな成長産業を創出するために、DXが不可欠。

- ✓ヘルスケア・教育：デジタル技術、データの活用による新たなヘルスケア・教育の実現に向け集中投資
- ✓サプライチェーン：IoTをはじめとするデジタル技術を活用した生産性向上に向け集中投資
- ✓研究開発投資：次世代技術、若手研究者への集中投資、研究開発税制の延長・拡充

## II 働き方・生き方改革

時間と空間の制約にとらわれない、多様で複線的な働き方の実現により、生産性向上を図り、人口減少下でも成長を実現。

- ✓新しい働き方にふさわしい労働法制の確立
- ✓国を挙げてのダイバーシティの推進
- ✓少子化対策を国の最優先事項に明確に位置づけ、切れ目ない支援

## III 地方創生

地方に人材を還流し、強みを活かした新たな産業を興し、多様な形の発展を実現。

- ✓地方の価値創造エコシステムの核となる中小企業（スタートアップ含む）、地方銀行、地方国公立大学等の競争力強化
- ✓地方の価値創造エコシステム構築を後押しするために、包括的な規制緩和を行う特区の創設

## IV 国際経済秩序の再構成

わが国主導による自由で開かれた国際経済秩序、経済安全保障、グローバル課題解決に向けた国際連携を実現。

- ✓データ利活用のためのルール作りをはじめ、わが国が国際社会へ貢献していく姿勢を鮮明に。

## V グリーン成長の実現

2050年カーボンニュートラルを目指したイノベーションにより、人類のグリーンな発展を約束する経済社会を構築。

- ✓環境・エネルギー技術分野におけるイノベーションへの税財政面、わが国技術の海外への情報発信等による支援
- ✓競争力ある再生可能エネルギーへの支援重点化

# 。新成長戦略

多様なステークホルダーの英知を結集し  
DXにより価値を協創するSociety 5.0で  
持続可能な資本主義を確立

## 生活者との価値協創

DXによる  
経済社会変革

生活者の体験価値向上、新たな成長産業の  
創出に向け、ヘルスケア、学び、行政、  
サプライチェーンのDXを加速

## 働き手との価値協創

働き方  
生き方改革

時間・空間の制約から  
解放され、  
多様で複線的な生き方・  
働き方により価値を協創

## 地域社会との価値協創

地方創生

都市から地方へ  
人材を還流させ、  
多様な主体による価値協創  
エコシステムを構築

持続可能な  
資本主義

## 国際社会との価値協創

国際経済秩序の  
再構成

主体的な経済安全保障を確保しつつ、  
自由貿易体制の堅持・発展を主導  
グローバル課題の解決に向けた  
連帯の形成

## 自然環境との価値協創

グリーン成長の  
実現

「2050年カーボンニュートラル」を見据え、  
イノベーションを継続的に創出  
各国との連携のもと、世界の脱炭素化  
に資する技術を展開